

株式会社タイカ TEL:054-334-5930 FAX:054-334-5940

## 環境配慮型曲面加飾工法の開発

- ▶ 所在地 〒424-0911 静岡市清水区宮加三789 ▶ 代表者 代表取締役 鈴木 大登 ▶ 設立 2006年6月 ▶ 資本金 100,000千円  
 ▶ 従業員数 192人 ▶ 事業内容 多機能素材「αGEL」、介護・福祉用品「αPLA」、曲面印刷技術「CUBIC」関連の開発・製造・販売

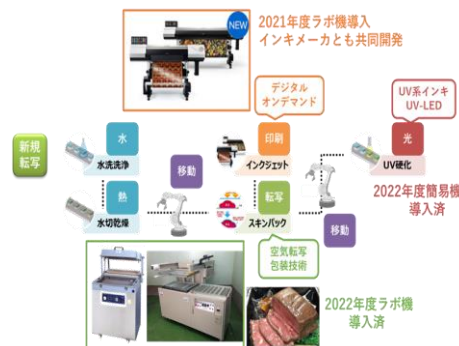
## 水・溶剤を使用しない CO2排出量も低減できる 新規の曲面加飾工法の開発

### 事業の目的

既存の水圧転写工法によるプラスチック曲面基材への加飾は、主に自動車の内装部品に採用されているが、近年、右肩下がり傾向である。その要因としては、「原料ロス大」「大量排水」「溶剤使用」などが挙げられ、これらの環境負荷低減が課題である。そこで、環境負荷を低減した新規の曲面加飾工法の開発を目的とする。

### 事業の概要

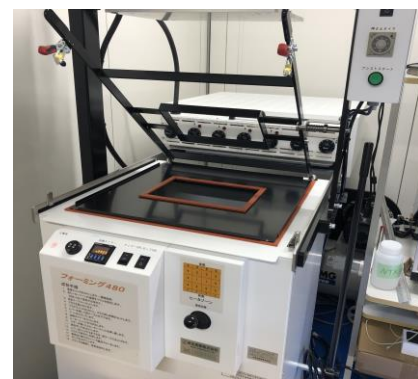
水圧転写工法の課題に対し、大きく3点の見直しを行い、環境負荷低減および原価低減へと進めた。①グラビア印刷からインクジェット印刷へ変更し、必要な部分のみの印刷で原料ロスを削減(印刷工程)、②水圧転写から真空転写(本事業で設備導入)へ変更することにより、水の使用をゼロにした(転写工程)、③印刷インキを溶剤系からUV硬化系にすることにより、塗装をなくし、溶剤使用をゼロにした(塗装工程)。



新規の加飾工法の概要

### SDGs達成に向けての成果

ラポ機導入後に試運転などを終え、開発中のインキと合わせ、曲面形状物への転写加工へと進めた。結果、想定通りに転写することが出来、水圧転写と比較すると、水を使用しないこと、塗装の溶剤を使用しないことを達成できる見込みを得た。また、CO2の削減量としても、28%程度既存工法と比較し削減できる見込みであり、製造原価としても約20%削減できる見通しであることが確認でき、本事業の成果を得た。



導入した真空成型機480型



新規の加飾工法で作製したサンプル例

### 成果からみるSDGs達成Goals

<p>6 安全な水とトイレを世界中に</p>	<p>7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに</p>	<p>9 産業と技術革新の基盤をつくろう</p>	<p>14 海の豊かさを守ろう</p>	<p>15 陸の豊かさを守ろう</p>
------------------------	-----------------------------	--------------------------	---------------------	---------------------